

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第6507247号
(P6507247)

(45) 発行日 平成31年4月24日(2019.4.24)

(24) 登録日 平成31年4月5日(2019.4.5)

(51) Int.Cl.

F I

G 0 6 Q 30/02 (2012.01)

G 0 6 Q 30/02 3 0 0

請求項の数 4 (全 10 頁)

(21) 出願番号	特願2017-529670 (P2017-529670)	(73) 特許権者	513278998
(86) (22) 出願日	平成27年12月16日(2015.12.16)		中国▲銀▼▲聯▼股▲ふん▼有限公司
(65) 公表番号	特表2018-500669 (P2018-500669A)		中華人民共和国200135上▲海▼市浦
(43) 公表日	平成30年1月11日(2018.1.11)		▲東▼新区含笑路36号▲銀▼▲聯▼大厦
(86) 国際出願番号	PCT/CN2015/097598	(74) 代理人	100108453
(87) 国際公開番号	W02016/107416		弁理士 村山 靖彦
(87) 国際公開日	平成28年7月7日(2016.7.7)	(74) 代理人	100110364
審査請求日	平成29年7月14日(2017.7.14)		弁理士 実広 信哉
(31) 優先権主張番号	201410851727.0	(74) 代理人	100133400
(32) 優先日	平成26年12月31日(2014.12.31)		弁理士 阿部 達彦
(33) 優先権主張国	中国 (CN)	(72) 発明者	王 ▲駿▼
			中華人民共和国200135上▲海▼市浦
			▲東▼新区含笑路36号 ▲銀▼▲聯▼大
			厦7楼

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 顧客価値評価方法及びシステム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

支払い端末及び交易を処理するスイッチングプラットフォームを含む既存の交易処理システムに用いる顧客価値評価方法であって、前記方法は、

a. マーチャントデータベース及びカード所有者特徴ライブラリを設立し、前記マーチャントデータベースは、マーチャントの基本属性データ及びマーチャントの顧客グループを含み、前記カード所有者特徴ライブラリは、カード所有者の消費特徴を示し、かつ前記マーチャントデータベースの顧客グループと前記カード所有者特徴ライブラリとの間に関連を持つことにより、前記顧客グループの中のカード番号に基づき、カード所有者特徴ライブラリから、該カード番号に対応するデータを検索できることと、

b. カード所有者の交易データ処理請求を受信した際に、前記スイッチングプラットフォームは、交易データを処理し、同時にカード所有者のカード番号及びカード所有者の消費が行われたマーチャントの標識を取得することと、

c. ステップbで取得したカード所有者のカード番号及びマーチャント標識に基づき、ステップaで設立されたカード所有者特徴ライブラリから該カード所有者に関連する特徴データを取得し、また、ステップaで設立されたマーチャントデータベースから消費の所在するマーチャントに関するデータを取得することと、

d. ステップcで取得したマーチャントに関するデータ及び取得した該カード所有者に関する特徴データに基づいて該カード所有者の基本価値情報を特定し、かつ特定された価値情報に基づいて該カード所有者の該マーチャントに対する価値データを生成することと、

10

20

e. 該マーチャントに該カード所有者の価値情報を知ってもらうように、生成された価値データを該マーチャントの表示部品に送信することと、を含む顧客価値評価方法。

【請求項2】

前記ステップaは、

交易データ履歴から一定の期間内のカード所有者消費情報及びマーチャント情報を含む全ての消費記録を取り出すことと、

取り出された消費記録に基づき、消費傾向を示す消費特徴データを取り出し、かつカード所有者特徴ライブラリを設立し、特徴ライブラリごとに、一種の消費特徴に対応させることと、

前記顧客グループと前記カード所有者特徴ライブラリとの間の関係を建立することと、を含むことを特徴とする請求項1に記載の顧客価値評価方法。

10

【請求項3】

支払い端末及び交易を処理するスイッチングプラットフォームを含む交易処理システムに用いる顧客価値評価システムであって、

前記顧客価値評価システムは、前記支払い端末とスイッチングプラットフォームにそれぞれ電気接続され、前記顧客価値評価システムは、

マーチャントデータベース及びカード所有者特徴ライブラリを設立し、前記マーチャントデータベースは、マーチャントの基本属性データ及びマーチャントの顧客グループを含み、前記カード所有者特徴ライブラリは、カード所有者の消費特徴を示し、かつ前記マーチャントデータベースの顧客グループと前記カード所有者特徴ライブラリとの間に関連関係を持つことにより、前記顧客グループの中のカード番号に基づき、カード所有者特徴ライブラリから該カード番号に対応するデータを検索できるためのデータベース設立モジュールと、

20

スイッチングプラットフォームでカード所有者の交易データ処理請求を受信し、前記交易データを処理し、カード所有者のカード番号及びカード所有者の消費が行われたマーチャントの標識を取得するための第1取得モジュールと、

第1取得モジュールで取得したカード所有者のカード番号及びマーチャント標識に基づき、設立されたカード所有者特徴ライブラリから該カード所有者に関連する特徴データを取得し、また、設立されたマーチャントデータベースから消費の所在するマーチャントに関するデータを取得するための第2取得モジュールと、

30

取得したマーチャントに関するデータ及び取得した該カード所有者に関する特徴データに基づいて、該カード所有者の基本価値情報を特定し、かつ特定された価値情報に基づいて該カード所有者の該マーチャントに対する価値データを生成するためのデータ生成モジュールと、

該マーチャントに該カード所有者の価値情報を知ってもらうように、生成された価値データを該マーチャントの表示部品に送信するための送信モジュールと、を含むことを特徴とする顧客価値評価システム。

【請求項4】

前記データベース設立モジュールは、

交易データ履歴から一定の期間内のカード所有者消費情報及びマーチャント情報を含む全ての消費記録を取り出すための第1ユニットと、

40

取り出された消費記録に基づき、消費傾向を示す消費特徴データを取り出し、かつカード所有者特徴ライブラリを設立し、特徴ライブラリごとに一種の消費特徴に対応させるための第2ユニットと、

前記顧客グループと前記カード所有者特徴ライブラリとの間の関連関係を建立するための第3ユニットと、を含むことを特徴とする請求項3に記載の顧客価値評価システム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、交易（即ち、取り引き）に関連するデータ処理に関し、さらに具体的には顧

50

客価値評価方法及びシステムに関する。

【背景技術】

【0002】

従来の顧客関係管理では、マーチャント (merchant) は顧客が本店での消費状況しか把握できず、顧客が同種類の他のマーチャントでの消費状況を知らないため、顧客の本当の選択意向を知ることができない。一方、マーチャントの側では、従来の顧客関係管理システムと支払いシステムは、互いに独立し、別別に維持する必要があるため、維持コストが高い。そして経済的実力の弱い小さいマーチャントも顧客関係管理システムを維持する力を持っていない。

【発明の概要】

【0003】

これを鑑み、本発明は、支払い端末 (payment terminal) 及び交易を処理するスイッチングプラットフォーム (switching platform) を含む既存の交易処理システムに用いる顧客価値評価方法を提供し、前記方法は、

a. マーチャントデータベース及びカード所有者特徴ライブラリを設立し、前記マーチャントデータベースは、マーチャント基本属性データ及びマーチャントの顧客グループを含み、前記カード所有者特徴ライブラリは、カード所有者の消費特徴を示し、かつ前記マーチャントデータベースの顧客グループと前記カード所有者特徴ライブラリとの間に関連関係を持つことにより、前記顧客グループの中のカード番号に基づき、カード所有者特徴ライブラリから該カード番号に対応するデータを検索できることと、

b. カード所有者の交易データ処理請求を受信した際に、前記スイッチングプラットフォームは、交易データを処理し、同時にカード所有者のカード番号及びカード所有者の消費が行われたマーチャントの標識を取得することと、

c. ステップbで取得したカード所有者のカード番号及びマーチャント標識に基づき、ステップaで設立されたカード所有者特徴ライブラリから該カード所有者に関連する特徴データを取得し、また、ステップaで設立されたマーチャントデータベースから消費の所在するマーチャントに関するデータを取得することと、

d. ステップcで取得したマーチャントに関するデータ及び取得した該カード所有者に関する特徴データに基づいて該カード所有者の基本価値情報を特定し、かつ特定された価値情報に基づいて該カード所有者の該マーチャントに対する価値データを生成することと、

e. 該マーチャントに該カード所有者の価値情報を知ってもらうように、生成された価値データを該マーチャントの表示部品に送信することと、を含む。

【課題を解決するための手段】

【0004】

本発明に記載の顧客価値評価方法によると、例えば、前記ステップaは、交易データ履歴から一定の期間内のカード所有者消費情報及びマーチャント情報を含む全ての消費記録を取り出すことと、取り出された消費記録に基づき、消費傾向を示す消費特徴データを取り出し、かつカード所有者特徴ライブラリを設立し、特徴ライブラリごとに一種の消費特徴に対応させることと、前記顧客グループと前記カード所有者特徴ライブラリとの間の関係を建立することと、を含む。

【0005】

本発明は、さらに支払い端末及び交易を処理するスイッチングプラットフォームを含む交易処理システムに用いる顧客価値評価システムを提供し、前記顧客価値評価システムは前記支払い端末とスイッチングプラットフォームにそれぞれ電気接続され、前記顧客価値評価システムは、

マーチャントデータベース及びカード所有者特徴ライブラリを設立し、前記マーチャントデータベースは、マーチャント基本属性データ及びマーチャントの顧客グループを含み、前記カード所有者特徴ライブラリは、カード所有者の消費特徴を示し、かつ前記マーチャントデータベースの顧客グループと前記カード所有者特徴ライブラリとの間に関連関係を持つことにより、前記顧客グループの中のカード番号に基づき、カード所有者特徴ライ

10

20

30

40

50

ブラリから該カード番号に対応するデータを検索できるためのデータベース設立モジュールと、

スイッチングプラットフォームでカード所有者の交易データ処理請求を受信し、前記交易データを処理し、カード所有者のカード番号及びカード所有者の消費が行われたマーチャントの標識を取得するための第1取得モジュールと、

第1取得モジュールで取得したカード所有者のカード番号及びマーチャント標識に基づき、設立されたカード所有者特徴ライブラリから該カード所有者に関連する特徴データを取得し、また、設立されたマーチャントデータベースから消費の所在するマーチャントに関するデータを取得するための第2取得モジュールと、

取得したマーチャントに関するデータ及び取得した該カード所有者に関する特徴データに基づいて該カード所有者の基本価値情報を特定し、かつ特定された価値情報に基づいて該カード所有者の該マーチャントに対する価値データを生成するためのデータ生成モジュールと、

該マーチャントに該カード所有者の価値情報を知ってもらうように、生成された価値データを該マーチャントの表示部品に送信するための送信モジュールと、を含む。

【0006】

本発明に記載の顧客価値評価システムによると、例えば、前記データベース設立モジュールは、交易データ履歴から一定の期間内のカード所有者消費情報及びマーチャント情報を含む全ての消費記録を取り出すための第1ユニットと、取り出された消費記録に基づき、消費傾向を示す消費特徴データを取り出し、かつカード所有者特徴ライブラリを設立し、特徴ライブラリごとに一種の消費特徴に対応させるための第2ユニットと、前記顧客グループと前記カード所有者特徴ライブラリとの間の関連関係を建立するための第3ユニットと、を含む。

【0007】

本発明に記載の方法又はシステムによると、ユーザー現在のカード消費状況に基づき、該カード所有者に対して評価し、該カード所有者が消費の所在するマーチャントに対する価値を出す。

【図面の簡単な説明】

【0008】

【図1】本発明の例示された顧客価値評価方法に基づくフローチャートである。

【図2】本発明の例示された顧客価値評価システムに基づく構造概念図である。

【図3a】ホリデーインホテルをマーチャントの例として該ホリデーインホテルの表示設備で示されたあるカード所有者の価値評価である。

【図3b】図3aのカード所有者が同業界のマーチャントの消費習慣であり、該消費習慣に基づき、例えば図3aに示される価値評価を推算できる。

【発明を実施するための形態】

【0009】

現在、図面に記載の本発明の概念的な例を参照し、同一の図面符号は同一の部品を示す。以下の文章に記載の各実施例は、当業者が本発明を徹底的に理解するのに資し、かつそれが例示としての意味があり、限定するためのものではない。別途に限定しない限り、本文で使用される用語（科学、技術及び業界用語）は、本発明が所属する分野の技術者が一般的に理解する意味と同じ意味を有する。

【0010】

図1は本発明の例示された顧客価値評価方法に基づくフローチャートである。本発明は、既存の交易処理システムに適用することができ、該既知の交易処理システムは、支払い端末及び交易を処理するスイッチングプラットフォームを含む。支払い端末は、例えばPOS端末が挙げられる。カード所有者は、POS端末を通してカードをスワイプすることによりマーチャントに対して支払いを行う。スイッチングプラットフォームは銀聯システム及びカードのカード発行銀行からなる。銀聯システムは、POS端末からの支払い請求を受信した後、該カードの基本情報を知るためにカードを解析し、かつカード発行銀行に通信接続

10

20

30

40

50

することにより、カード発行銀行と互いに合わせて取引処理を完成させる。説明すべきは、上記の内容に言及したスイッチングプラットフォームに含まれる銀聯システムは、他の第3者のプラットフォームであってもよく、銀聯システムに限っているわけではないということである。

【0011】

本発明の例によると、図1に示す方法のステップ10では、マーチャントのデータベースを設立し、マーチャントの基本属性データ及びマーチャントの顧客グループを含み、カード所有者の特徴ライブラリを設立する。マーチャントの基本属性は、マーチャントの所在地及びマーチャントの基本種類などを含む。マーチャントの顧客グループは、該マーチャントで消費を行った全てのカード所有者のカード情報及びカード所有者情報を含む。カード情報は、例えば該カードの番号、カードの種類及びカードの所在するカード発行機構などを含む。カード所有者情報は、例えばカード所有者の名前、電話番号などを含む。カード所有者特徴ライブラリは、一つである可能性も、複数である可能性もある。特徴ライブラリごとに、一つの消費特徴を示し、かつ該ライブラリに含まれるカード所有者は複数である。例えば、特徴ライブラリAが示す消費特徴がジュエリー類の消費である場合、該カード所有者特徴ライブラリの各カード所有者がその消費好みにおいて、ジュエリー類の消費の割合が予め設定された消費好みの閾値よりも高いということを意味する。各特徴ライブラリ同士は互いに関連し、例えば、特徴ライブラリAは、その中に分類されたカード所有者mがグルメを示す特徴ライブラリBにも分類されたため、特徴ライブラリBまで検索する可能性もある。説明すべきは、各カード所有者がこの期間内の消費は多様であり、本発明によると、その消費を分類し、例えば飲食類、服装類、ジュエリー類、生活用品類、ビジネス旅行類などによって分類した上、各種類がその総消費記録における割合を計算し、計算された割合が予め確定された消費好みの閾値よりも高い際に、該カード所有者を、対応する特徴データベースに分類するが、消費好みの閾値の大きさについて、例えばある項目に対する消費の頻度及び額がこの時期の総消費額の20%以上であれば、この消費に対して消費好みを有すると認定されるということである。

【0012】

ステップ12では、カード所有者の取引データ処理請求を受信した際には、前記スイッチングプラットフォームは、取引データを処理すると同時に、カード所有者のカード番号及びカード所有者の消費が行われたマーチャントの標識を取得する。

【0013】

ステップ14では、ステップ12で取得したカード所有者のカード番号に基づき、ステップ10で設立されたカード所有者特徴ライブラリから該カード所有者に関連する一連の消費特徴データを取得し、ステップ12で取得したカード所有者の消費が行われたマーチャントの標識に基づき、マーチャントデータベースから該マーチャントに関するデータを検索する。マーチャントの関連データは、マーチャントの基本属性、該マーチャントの顧客グループなどを含む。マーチャントの基本種類は、該マーチャントのサービスの種類（例えば、コンサルティングサービス類など）又はマーチャントが販売する商品の種類（例えば、マーチャントがジュエリーを販売するか又はマーチャントがパン屋さんであることなどが挙げられる）を示す。

【0014】

ステップ16では、取得された該カード所有者の一連の消費特徴データに基づき、該カード所有者の価値情報を計算し、計算された基本価値情報は、カード所有者が該マーチャントでの消費状況履歴、カード所有者が同業界の他のマーチャントでの消費状況などを含み、次には計算された基本価値情報に基づいて該カード所有者の該マーチャントに対する価値を評価する。

【0015】

ステップ18では、マーチャントに知ってもらうように、生成された該カード所有者の価値を該マーチャントの表示設備に送信する。

【0016】

本発明の一つの例によると、図1に示す方法でのステップ10は、交易データ履歴から一定の期間内のカード所有者消費情報及びマーチャント情報を含む全ての消費記録を取り出すことと、取り出された消費記録に基づき、消費傾向を示す消費特徴データを取り出し、かつカード所有者特徴ライブラリを設立し、特徴ライブラリごとに一種の消費特徴に対応させることと、前記顧客グループと前記カード所有者特徴ライブラリとの間の関連関係を建立することと、を含む。

【0017】

図2は、本発明の例示された顧客価値評価システムに基づく構造概念図である。該顧客価値評価システムは、支払い端末及び交易を処理するスイッチングプラットフォームを含む交易処理システムに用いられる。該顧客価値評価システムは、前記支払い端末20とスイッチングプラットフォーム22にそれぞれ電気接続される。該顧客価値評価システムは、データベース設立モジュール30、第1取得モジュール32、第2取得モジュール34、データ生成モジュール36、送信モジュール38を含む。

【0018】

データベース設立モジュール30は、マーチャントデータベース及びカード所有者特徴ライブラリを設立し、マーチャントデータベースは、マーチャントの基本属性データ及びマーチャントの顧客グループを含み、カード所有者特徴ライブラリは、カード所有者の消費特徴を示し、かつマーチャントデータベースの顧客グループと該カード所有者特徴ライブラリとの間に関連関係を持つことにより、該顧客グループの中のカード番号に基づき、カード所有者特徴ライブラリから該カード番号に対応するデータを検索できる。より具体的には、カード所有者の特徴ライブラリは、一つである可能性も、複数である可能性もある。特徴ライブラリごとに、一つの消費特徴を示し、かつ該ライブラリに含まれるカード所有者は複数である。例えば、特徴ライブラリAが示す消費特徴がジュエリー類の消費である場合、該カード所有者特徴ライブラリの各カード所有者がその消費好みにおいて、ジュエリー類の消費の割合が予め設定された消費好みの閾値よりも高いということを意味する。各特徴ライブラリ同士は互いに関連し、例えば、特徴ライブラリAは、その中に分類されたカード所有者mがグルメを示す特徴ライブラリBにも分類されたため、特徴ライブラリBまで検索する可能性がある。

【0019】

第1取得モジュール32は、スイッチングプラットフォーム22においてカード所有者の交易データ処理請求を受信し、前記交易データを処理し、カード所有者のカード番号及びカード所有者の消費が行われたマーチャントの標識を取得する。カード所有者は、例えばPOS端末の支払い端末20から支払い請求を送信し、スイッチングプラットフォーム22は、該請求を受信した後、交易データを処理する。スイッチングプラットフォーム22で請求を受信した際に、第1取得モジュール32は、該スイッチングプラットフォームからカード所有者のカード番号及びカード所有者の消費が行われたマーチャントの標識を取得する。

【0020】

第2取得モジュール34は、第1取得モジュール32が取得したカード所有者のカード番号及びマーチャント標識に基づき、設立されたカード所有者特徴ライブラリから該カード所有者に関連する特徴データを取得し、また、設立されたマーチャントデータベースから消費の所在するマーチャントに関するデータを取得する。マーチャントの関連データは、マーチャントの基本属性、該マーチャントの顧客グループなどを含む。マーチャントの基本種類は、該マーチャントのサービスの種類（例えば、コンサルティングサービス類など）又はマーチャントが販売する商品の種類（例えば、マーチャントがジュエリーを販売するか又はマーチャントがパン屋さんであることなどが挙げられる）を示す。

【0021】

データ生成モジュール36は、取得されたマーチャントに関するデータ及び取得された該カード所有者に関する特徴データに基づいて該カード所有者の基本価値情報を特定し、かつ特定された価値情報に基づいて該カード所有者の該マーチャントに対する価値データを生成する。データ生成モジュール36は、取得された該カード所有者の一連の消費特徴デー

10

20

30

40

50

タに基づき、該カード所有者の価値情報を計算し、計算された基本価値情報は、カード所有者が該マーチャントでの消費状況履歴、カード所有者が同業界の他のマーチャントでの消費状況などを含み、次には計算された基本価値情報に基づいて該カード所有者の該マーチャントに対する価値を評価する。送信モジュール38は、該マーチャントに該カード所有者の価値情報を知ってもらうように、生成された価値データを該マーチャントの表示部品に送信する。

【0022】

本発明の例によると、データベース設立モジュール30は、交易データ履歴から一定の期間内のカード所有者消費情報及びマーチャント情報を含む全ての消費記録を取り出すための第1ユニットを含む。例によると、この一定の期間は例えば1年である。第2ユニットは、取り出された消費記録に基づき、消費傾向を示す消費特徴データを取り出し、かつカード所有者特徴ライブラリを設立し、特徴ライブラリごとに一種の消費特徴に対応させる。例えば、ジュエリーに傾く消費特徴、グルメに傾く消費特徴、ビジネス旅行に傾く消費特徴などが挙げられる。説明すべきのは、各カード所有者がこの期間内の消費は多様であり、本発明によると、その消費を分類し、例えば飲食類、服装類、ジュエリー類、生活用品類、ビジネス旅行類などによって分類した上、各種類がその総消費記録における割合を計算し、計算された割合が予め確定された消費好みの閾値よりも高い際に、該カード所有者を、対応する特徴データベースに分類するが、消費好みの閾値の大きさについて、例えば、ある項目に対する消費の頻度及び額がこの時期の総消費額の20%以上であれば、この消費に対して消費好みを有すると認定されるということである。

【0023】

第3ユニットは、顧客グループと前記カード所有者特徴ライブラリとの関連関係を設立することにより、該顧客グループにおけるカード番号からカード所有者特徴ライブラリから該カード番号に対応するデータを検索できるために用いられる。

【0024】

本発明に記載の顧客価値評価方法はスイッチングプラットフォームで実現され、又は他の電子設備で実現され、該電子設備が該スイッチングプラットフォームに通信さえできればよい。本発明に記載の顧客価値評価システムは、ソフトウェア又はハードウェア又はソフトウェアとハードウェアの組み合わせにより実現でき、かつ該顧客価値評価システムはスイッチングプラットフォームで直接に実現され、又はスイッチングプラットフォームに通信接続すれば直接に実現される。

【0025】

本発明に記載の顧客価値評価方法及び／又は顧客価値評価システムでは、既に設立されたマーチャントデータベース及びカード所有者特徴ライブラリは更新されることが可能である。例えば、毎日、データ履歴から交易データを取得して分析し、更新されたマーチャントデータベース及びカード所有者特徴ライブラリを取得し、更新されたマーチャントデータベース及びカード所有者特徴ライブラリにより旧来のものを全てカバーすることもできれば、新しく増加されたマーチャントデータベースデータ及びカード所有者特徴ライブラリのデータのみを、マーチャントデータベース及びカード所有者特徴ライブラリに更新することもできる。また、代替的には、既にマーチャントデータベース及びカード所有者特徴ライブラリが設立された場合、それ以降マーチャントデータベース及びカード所有者特徴ライブラリを更新する際に、採用するデータ履歴は、既に設立されたマーチャントデータベース及びカード所有者特徴ライブラリの採用したデータ履歴を含まなくてもよい。

【0026】

図3aは、ホリデーインホテルをマーチャントの例として該ホリデーインホテルの表示設備においてあるカード所有者の価値評価を説明するものである。図に示すように、該カード所有者がホリデーインホテルにとって、顧客ポテンシャル値が82.03%に達している。図3bは、図3aでのカード所有者が同業界のマーチャントでの消費習慣であり、該消費習慣に基づき、図3aに示す価値評価を推算できる。

【符号の説明】

- 【0027】
- 20 支払い端末
- 22 スイッチングプラットフォーム
- 30 データベース設立モジュール
- 32 取得モジュール
- 34 取得モジュール
- 36 データ生成モジュール
- 38 送信モジュール

【図 1】

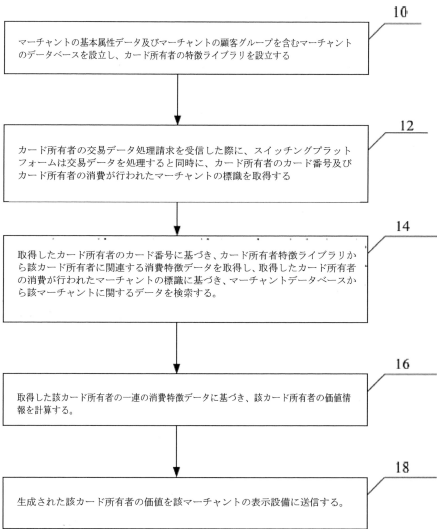


図 1

【図 2】

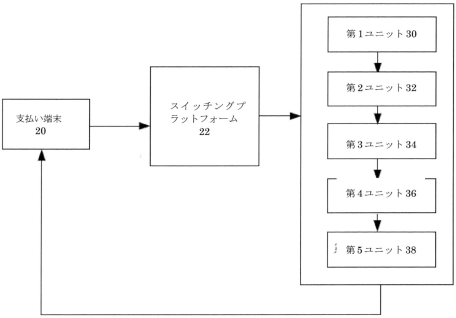
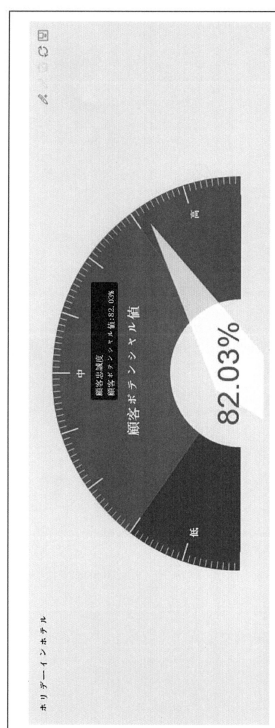


図 2

【図 3 a】



☒ 3a

【図 3 b】

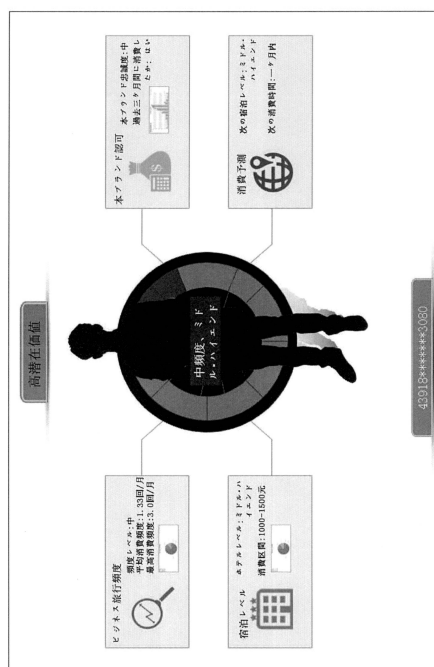


图 3b

フロントページの続き

審査官 衣川 裕史

- (56)参考文献 特開2012-058785 (JP, A)
特開2010-238065 (JP, A)
特開2009-075745 (JP, A)
特開2001-256569 (JP, A)
特開平08-279078 (JP, A)
特開2002-032558 (JP, A)

- (58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
G06Q 10/00-99/00